2015年 3月期 第3四半期 決 算 補 足 説 明 資 料



トレンダーズ株式会社 東証マザーズ:6069



- 2015年3月期 第3四半期 トピックス
- 2015年3月期 第3四半期 決算概要
 - 2015年3月期 第3四半期 概要
 - 売上高・売上構成の推移
 - 営業利益の増減要因
 - 今後の成長戦略
 - Between Life n Tech
 - カルチュア・コンビニエンス・クラブとのサービス連携
 - 動画関連サービス
 - H&BC

2015年3月期第3四半期 トピックス



■売上高・利益ともに成長

新規サービス群の成長が業績を牽引し、売上高は前年同期比25%増、 経常利益は前年同期比54%増となりました。

■新規サービス群が堅調

スマートフォン及び動画関連サービスなど新規サービス群が堅調に推移し、同サービス群の売上高は前年同期比104%増となりました。中でも動画関連サービスの売上高は前年同期比467%増と大きく成長いたしました。

■ Between Life n Techを開設

開発技術のさらなる向上を目的としたテクノロジーラボを開設し、 外部エンジニアとのパートナーシップを締結いたしました。

2015年3月期第3四半期 決算概要

2015年3月期第3四半期 概要



■ 第3四半期は売上高が前年同期比25.5%増、営業利益は57.9% 増となりました。

		2015年3月期 第3四半期累計実績	2014年3月期 (前期) 第3四半期累計実績	前年同期比	2015年3月期 通期予想
売上高	(百万円)	1,560	1,243	125.5%	2,160
営業利益	(百万円)	115	73	157.9%	216
経常利益	(百万円)	115	74	154.9%	216
純利益	(百万円)	62	32	193.5%	110

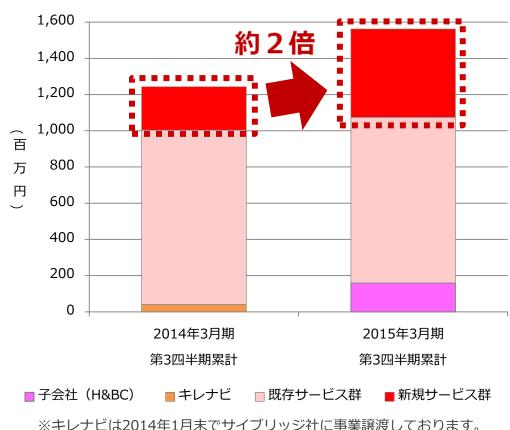
^{※2014}年3月期本決算より損益計算書の連結を開始したため、2014年3月期第3四半期累計の実績は単体の業績になります。

売上高・売上構成の推移



新規サービス群(スマートフォン及び動画関連サービス、自社メディア)は当該 売上が前年同期の約2倍となり、売上高を大きく牽引いたしました。その中でも 動画関連サービスは当該売上が前年同期の約5.6倍と大きく成長しました。

<売上高・売上構成の前年同期比較>

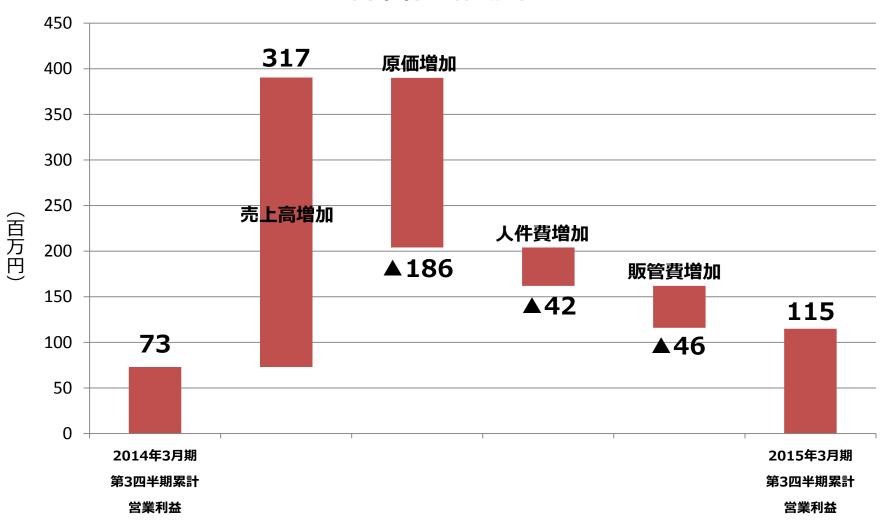


営業利益の増減要因



■ グループ全体で売上高が大きく増加したことに加え、人件費及び販管費の伸びを 圧縮できたことによって、営業利益は前年同期比42百万円増となりました。

<営業利益増減要因>



今後の成長戦略

今後の成長戦略



1 Between Life n Tech

当社のサービス開発力の飛躍的向上を目的とした専門機関を2015年2月に開設いた しました。

② カルチュア・コンビニエンス・クラブとのサービス連携

リニューアル後3ヶ月間で500万PVを突破した「Tプレゼント×Amaze」にて、 さらなるユーザー獲得を図ります。

③ 動画関連サービス

デジタルコンテンツの拡散を図る「コンテンツバイラルネットワーク」を2014年 11月にローンチいたしました。

4 H&BC

自社へアケアブランド「サロントーキョー」を全面リニューアルし、全国のバラエ ティショップ、ドラッグストア、オンラインショップで展開いたします。

Between Life n Tech



当社のサービス開発力の向上と次世代エンジニアの育成を目的とした専門機関 "Between Life n Tech"を開設し、外部エンジニアとのパートナーシップを 締結いたしました。



トレンダーズの成長戦略②



カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社とのサービス連携である「Tプレゼント×Amaze」がリニューアル後3ヶ月間で500万PVを突破しました。 今後さらなるユーザーの獲得に努めてまいります。



- ・ユーザーがQ&Aに回答するとTポイントが貯まるQ&Aサイト
- ・2014年11月12日にリニューアルローンチし、3ヶ月間で500万PVを突破

動画関連サービス



取引社数が順調に推移しているVNR(ビデオニュースリリース)サービスに加え、バイラルメディアでの拡散が可能な「コンテンツバイラルネットワーク」をローンチいたました。



- ・国内の主要バイラルメディア5媒体と提携
- ・ネットワークの総PVは月間1億PV以上



本資料は、業績に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的に作成したものではありません。

また、本資料に掲載された情報や見通しは、資料作成時点において入手可能な情報を基にしております。

本資料の内容には当社の判断が含まれており、情報の正確性を保証するものではなく、今後様々な要因により実際の業績や結果と異なることがあります。



Trend

Sustainability

時代の流れをとらえる。そして、持続していく。